

内視鏡外科手術における高性能電気メスの管理と臨床工学技士の役割

岐阜赤十字病院 臨床工学課

梅染 佳記

【はじめに】 内視鏡外科手術では多くの医療機器を使用して施術されるが、その中で電気メスは最も使用頻度が高く重要な機器である。近年はシーリング機能を備えた電気メスや、複数のCPUを搭載してメス先の抵抗を計測するなど、新しい機能を搭載した高性能電気メスが登場しており、管理・取り扱いには専門的な知識が必要となっている。

【管理・取り組み】 当院の臨床工学技士（CE）は電気メス本体の日常点検や使用前点検、トラブル対応に加え、内視鏡外科手術に関連する鉗子・デバイスの抵抗測定、漏電確認などの管理を実施している。術式や手技を理解したうえで医師に適切な出力モードへの変更など機能面の情報提供を行い、円滑な手術の施行に努めている。また、機器の性能や特性を理解したことによりデバイス変更の提案を行いコスト削減に貢献することができた。

手術室看護師には電気メスの危険性など安全使用に関する知識や、内視鏡外科手術の清潔介助時に特化した取り扱いなど技術の提供を行った今回、更に4年が経過したところでの故障率の比較について再度、検証したので報告する。